

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	砂防事業〔通常砂防事業（国補）〕	事業箇所	南巨摩郡身延町飯富	地区名	下天神沢川（シモテンジンサワガワ）	事業主体	山梨県																																					
（１）事業の概要 ①課題・背景 本溪流は南巨摩郡身延町に位置する流域面積が0.23km ² の溪流であり土砂災害警戒区域に指定されている。本溪流は平均溪床勾配1/7の急勾配であり、溪流内には不安定土砂が堆積しており、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。 また、保全対象には、人家61戸や第1次緊急輸送道路、要配慮者利用施設などが存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害となる恐れがある。このため、砂防施設を早急に整備し、土砂災害を未然に防止する必要がある。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 ・土砂整備率 20% < 70%未済※ ・重要公共施設の有無 有 第1次緊急輸送道路（国道52号）（保全対象＝人家61戸、国道393m、県道187m、町道487m、要配慮者利用施設（病院、老人ホーム）、公民館（避難所）、郵便局） ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ○被災時の被害波及の防止（緊急輸送道路）				（３）事業の妥当性評価 ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 ③経済妥当性 <table><tr><td>総事業費</td><td>460 百万円</td><td>工期</td><td>R8～R16</td><td>基準年</td><td>R7</td></tr><tr><td rowspan="5">経済効率性</td><td>費用</td><td>367 百万円</td><td>便益</td><td colspan="2">4,700 百万円</td></tr><tr><td>建設費</td><td>366 百万円</td><td>一般資産被害抑止</td><td colspan="2">1,167 百万円</td></tr><tr><td>維持管理費</td><td>1 百万円</td><td>公共土木施設等被害抑止</td><td colspan="2">612 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>人身被害抑止</td><td colspan="2">381 百万円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>その他※</td><td colspan="2">2,540 百万円</td></tr><tr><td colspan="3">B/C</td><td colspan="2">12.8</td></tr></table> ※その他は、応急対策、人的被害(精神的損失) 費用便益比（B/C）は、国の採択基準1.0を超えている。				総事業費	460 百万円	工期	R8～R16	基準年	R7	経済効率性	費用	367 百万円	便益	4,700 百万円		建設費	366 百万円	一般資産被害抑止	1,167 百万円		維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	612 百万円				人身被害抑止	381 百万円				その他※	2,540 百万円		B/C			12.8	
				総事業費	460 百万円	工期	R8～R16	基準年	R7																																			
経済効率性	費用	367 百万円	便益	4,700 百万円																																								
	建設費	366 百万円	一般資産被害抑止	1,167 百万円																																								
	維持管理費	1 百万円	公共土木施設等被害抑止	612 百万円																																								
			人身被害抑止	381 百万円																																								
			その他※	2,540 百万円																																								
B/C			12.8																																									
（２）整備内容 ①整備内容 砂防堰堤 1基 H=14.5m、L=97.0m ②着手年度 令和8年度 ③完成見込年度 令和16年度 ④総事業費 約460百万円 ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和8～9年度 測量、詳細設計、地質調査 40 百万円 令和10年度 用地調査、用地取得・補償 10 百万円 令和11～16年度 砂防堰堤工 410 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 ・砂防堰堤3基 ・治山堰堤4基				④事業実施・規模の妥当性 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である ⑤整備手法の有効性 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした ⑥環境負荷等への配慮 掘削法面等に緑化等を行い環境負荷に配慮する ⑦事業計画の熟度 地元の要望に基づいており、地域の同意は得られている 総 合 評 価 [貢献度ランク：a] （４）事業位置図等 																																								

2. 添付資料シート

流域状況写真



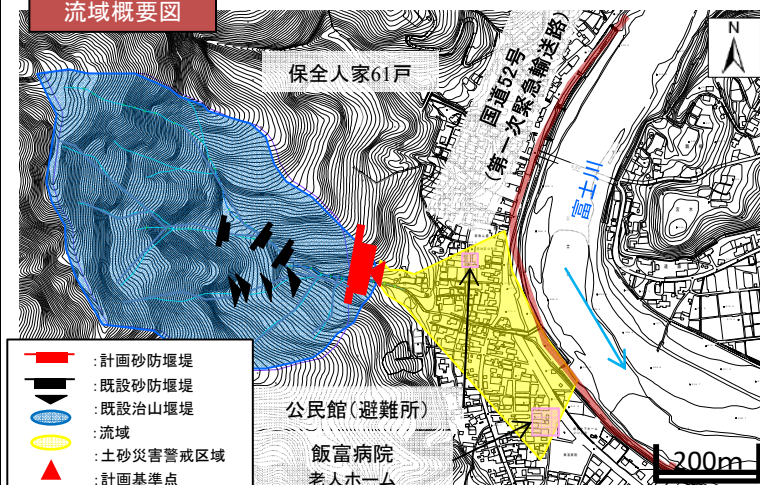
写真①【荒廃状況】



写真②【保全対象】



流域概要図



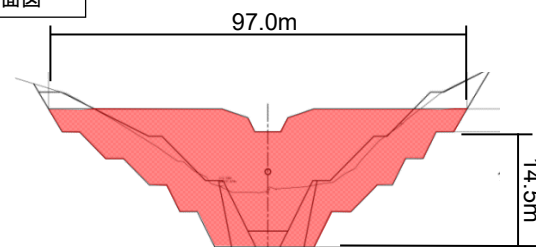
写真③要配慮者利用施設



保全人家(全61戸)



正面図



側面図

